

# 令和8年度 講座「丹波学」 講義日程・内容

<p>第1回 8月29日(土) 14:00~15:30</p>	<p>「豊臣秀長の後半生 ～四国・九州攻めを中心に～」</p> <p>歴史の教科書に、豊臣秀長に関する記述はほぼみられません。本講座では歴史資料(古文書・史料)を通して歴史教科書ではみられない秀長の後半生(特に四国・九州攻め)を中心にみていきます。</p> <p>講師 片山 正彦 氏 (枚方市立枚方宿鍵屋資料館 学芸員)</p>
<p>第2回 9月19日(土) 14:00~15:30</p>	<p>「明智光秀から羽柴秀長の時代へ ～転換期の丹波～」</p> <p>羽柴秀長が丹波北部に入る直前、同地域は明智光秀が治めていました。丹波国は、いかにして光秀から秀長へと受け継がれたか、そして秀長の丹波平定伝承はどう生まれたか。地域の視点から転換期の丹波を振り返ります。</p> <p>講師 福島 克彦 氏 (城郭談話会 会員)</p>
<p>第3回 10月24日(土) 14:00~15:30</p>	<p>「秀長の丹波・播磨・但馬支配」</p> <p>秀長は兄秀吉のもとで、丹波・播磨・但馬の支配に関わったことが知られています。丹波の支配に関しては史料が僅少なので、播磨・但馬も含めて、秀長による支配の様相を明らかにしていきます。</p> <p>講師 渡邊 大門 氏 (㈱歴史と文化の研究所 代表取締役)</p>
<p>第4回 11月7日(土) 14:00~15:30</p>	<p>「秀長の紀伊・大和支配」</p> <p>秀長は紀伊・大和を含む広域を支配し、秀吉の天下統一をサポートしました。紀伊・大和は中世には寺社が勢力をもち、武士の支配が及びにくい地域でした。そのような難治の地に秀長はどう向き合ったのか。本領における彼の統治手腕を探ります。</p> <p>講師 新谷 和之 氏 (近畿大学文芸学部 准教授)</p>
<p>第5回 12月12日(土) 14:00~15:30</p>	<p>「福知山城の歴代城主たち」</p> <p>光秀期から秀吉期の歴代福知山城主と城代について、その変遷と事績を改めて検討し、福知山に多く残されている光秀の伝承と史実の確認や、秀長の福知山支配等、地元伝来の史料もあわせて紹介します。</p> <p>講師 西村 正芳 氏 (京都府立大学 共同研究員)</p>

